

副産物情勢

9月6日

更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内 容	備 考																								
内 臓	<p>1.国産牛</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年7月の成牛と畜頭数は、91.8千頭(前年同月比96.7%)となった。内訳を見ると、和牛45.0千頭(前年同月比97.9%)、交雑牛19.4千頭(同94.0%)、乳牛去勢13.2千頭(同 96.6%)と、全ての品種で前年を下回った。 ○ 令和3年8月の成牛と畜頭数は、速報値(8/31まで集計)で79.2千頭(前年比97.5%)で、前年をわずかに下回った。 ○ (独)農畜産業振興機構が8月28日に公表した牛肉の需給予測によると、9月の出荷頭数は和牛と乳牛の出荷頭数の減少により、前年を下回ると予測するとともに、3ヶ月平均(7~9月)でも、和牛・乳牛の出荷頭数の減少により、出荷頭数(前年同期比98.8%)・生産量(同97.9%)ともに前年同期を下回ると見込んでいる。 ○ 需要動向は、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の影響によって荷動きは不安定だが、タン・ハラミの引き合いは衰えることなく、その他部位についても荷余り感がある状況ではない。特に、牛タンは焼肉食べ放題チェーンが豚タンにメニュー切替するような状況が見受けられる。 ○ 流通価格が極端に下がっていないことから外食回復の期待感や輸入原料の品不足等で一定の引き合いが見込まれていると予測する。 	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成31年4月1日</td> <td>45/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年4月20日</td> <td>25/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月25日</td> <td>25/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月26日</td> <td>25/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>※乳牛も同様35円/kg ※豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成31年4月1日	45/枝kg	9/枝kg	令和2年4月20日	25/枝kg	5/枝kg	令和2年7月1日	35/枝kg	7/枝kg	令和3年1月25日	25/枝kg	5/枝kg	令和3年4月1日	35/枝kg	7/枝kg	令和3年4月26日	25/枝kg	5/枝kg			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																							
	平成31年4月1日	45/枝kg	9/枝kg																							
令和2年4月20日	25/枝kg	5/枝kg																								
令和2年7月1日	35/枝kg	7/枝kg																								
令和3年1月25日	25/枝kg	5/枝kg																								
令和3年4月1日	35/枝kg	7/枝kg																								
令和3年4月26日	25/枝kg	5/枝kg																								
<p>2.国産豚</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年7月度の全国の肉豚出荷頭数は1,313.1千頭(前年比96.8%)となった。6月の全国地域別出荷頭数を前年同月比で見ると、北海道100.7%、東北99.0%、関東92.8%、北陸甲信越93.6%、東海102.1%、近畿93.1%、中四国94.0%、九州・沖縄97.3%である。 ○ 令和3年8月の全国と畜頭数は速報値で1,298.2千頭(8/31まで集計)で、前年同月比97.4%となっている。稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は61,819頭(前年は63,493頭/日、前年比△1,674頭/日)となっている。 ○ 農水省食肉鶏卵課の令和3年8月24日付肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和3年9月1,337千頭(前年同月比99%)、10月1,434千頭(同97%)、11月1,442千頭(同99%)、12月1,447千頭(同97%)、翌年1月1,394千頭(同98%)で、下期合計で前年比98.2%と前年をわずかに下回ると予測している。 ○ 需要動向は、引き続き赤物は好調、白物は小腸・直腸は堅調に推移しているが、豚足は沖縄・輸出仕向けが停滞していることから荷余り感がある。 ○ 流通価格は外食以外の中食・内食需要が堅調なことから一定水準が維持され、特にタン・ハラミ・小腸は相場が高騰している。 ○ 宣言無視で営業する居酒屋等も増えているように感じられるが、内臓卸問屋としては心中穏やかではないと推測する。 	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成31年4月1日</td> <td>45/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年4月20日</td> <td>25/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>4/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月25日</td> <td>25/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年3月11日</td> <td>35/枝kg</td> <td>4/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月19日</td> <td>25/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成31年4月1日	45/枝kg	5/枝kg	令和2年4月20日	25/枝kg	3/枝kg	令和2年7月1日	35/枝kg	4/枝kg	令和3年1月25日	25/枝kg	3/枝kg	令和3年3月11日	35/枝kg	4/枝kg	令和3年4月19日	25/枝kg	3/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
平成31年4月1日	45/枝kg	5/枝kg																								
令和2年4月20日	25/枝kg	3/枝kg																								
令和2年7月1日	35/枝kg	4/枝kg																								
令和3年1月25日	25/枝kg	3/枝kg																								
令和3年3月11日	35/枝kg	4/枝kg																								
令和3年4月19日	25/枝kg	3/枝kg																								
<p>3.輸入牛</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年7月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で52.1千ト(前年比98.9%、前月比99.6%)と前年をわずかに下回った。内訳は、チルドが25.0千ト(前年比107.3%、前月比104.8%)、フローズンが27.1千ト(前年比92.3%、前月比95.3%)である。チルドは前年がコロナ禍で北米現地工場の稼働の停止により輸入量が少なく、かつ、米国からの輸入量が増加傾向に転じたことで前年を上回り、フローズンは外食需要の回復の遅れと現地価格の高騰により、前年を下回ることとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構が8月26日に公表した牛肉の需給予測によると、8月の輸入数量は、チルドは前年が北米・豪州での現地価格の高騰や入船遅れ等の影響により大きく数量が大きく落ち込んだことで前年を大幅に上回る一方、フローズンは不振が続く外食需要の中での現地価格の高騰が直撃となり、前年を下回ることが見込まれる。9月の輸入量は、チルド・フローズンともに、前年が豪州での生産量の減少に伴う現地価格の高騰のため大きく減少したため、前年同月を上回る一方ことが予測される。 ○ 令和3年7月の冷凍輸入牛レバーは121.9ト(前年比218.8%・前月比72.7%)で、国別では米国78.7t、豪州36.7t、墨国6.5tであった。冷凍輸入牛腸は1,591.6ト(前年比162.9%・前月比146.8%)で、国別では米国902.2t、豪州404.3t、墨国216.9t、加奈陀68.0tとなった。 	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成31年1月5日</td> <td>1,000/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年7月22日</td> <td>700/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>500/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月15日</td> <td>100/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月20日</td> <td>100/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和3年5月24日</td> <td>10/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成31年1月5日	1,000/枚	30/枚	令和元年7月22日	700/枚	10/枚	令和2年3月16日	500/枚	10/枚	令和2年6月15日	100/枚	10/枚	令和2年7月20日	100/枚	2/枚	令和2年9月28日	10/枚	2/枚	令和3年5月24日	10/枚	10/枚	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																								
平成31年1月5日	1,000/枚	30/枚																								
令和元年7月22日	700/枚	10/枚																								
令和2年3月16日	500/枚	10/枚																								
令和2年6月15日	100/枚	10/枚																								
令和2年7月20日	100/枚	2/枚																								
令和2年9月28日	10/枚	2/枚																								
令和3年5月24日	10/枚	10/枚																								
原 皮	<p>1.牛原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年7月の輸出実績は、40,985枚(前年比114.0%、前月比80.3%)で、14か月連続で前年を上回った。輸出平均価格は2,761円/枚(前年比+1,857円、前月比+28円)となった。国別実績は、タイ16,710枚(前年比71.3%)、ベトナム11,160枚(同218.0%)、韓国11,365枚(同536.1%)、カンボジア1,150枚(同実績なし)であった。一方、ウエントブルーの輸入は、17.8千枚(前年比125.5%、前月比165.6%)、牛大判皮は38.1千枚(前年比215.6%、前月比119.4%)となった。 ○ 海外情勢は輸送コストの上昇、生産・消費国での新型コロナウイルス感染再拡大でタンナーからの引き合いは弱含みであり、価格交渉が難航している。但し、最大の輸出国であるタイの輸出平均価格は6月から約250円/枚の値上がりをしたことから、流通価格が底上げされていると予測する。 ○ 国内情勢はメイン取引先である百貨店の不振から荷動きが不安定であり、輸入原皮の切替で需要のあるホルヌキ原皮以外は苦戦しているようだ。 	<p>4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年7月16日</td> <td>1,000/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年8月15日</td> <td>1,000/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>800/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月22日</td> <td>300/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月27日</td> <td>300/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和3年6月1日</td> <td>10/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月16日	1,000/枚	30/枚	令和元年8月15日	1,000/枚	10/枚	令和2年3月16日	800/枚	10/枚	令和2年6月22日	300/枚	10/枚	令和2年7月27日	300/枚	2/枚	令和2年9月28日	10/枚	2/枚	令和3年6月1日	10/枚	10/枚
	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																							
令和元年7月16日	1,000/枚	30/枚																								
令和元年8月15日	1,000/枚	10/枚																								
令和2年3月16日	800/枚	10/枚																								
令和2年6月22日	300/枚	10/枚																								
令和2年7月27日	300/枚	2/枚																								
令和2年9月28日	10/枚	2/枚																								
令和3年6月1日	10/枚	10/枚																								
<p>2.豚原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年7月の輸出実績は、1,058,152枚(前年比84.8%、前月比102.5%)で、3か月連続で前年を下回った。輸出平均価格は621円/枚(前年比+380円、前月比+34円)となった。 国別実績は、タイ745.0千枚(前年比86.1%)、ベトナム184.8千枚(同96.7%)、韓国31.6千枚(同133.3%)、カンボジア96.7千枚(同79.9%)、香港・フィリピン・台湾・ミャンマーは実績なし。 ○ 需給動向は生産国であるタイ・ベトナムで新型コロナウイルス感染再拡大による一時的な工場閉鎖はあったが、荷動きが停滞しているような状況ではない。しかし、タンナーとの価格交渉が難航しているようで、世界的な経済不況の煽りを受けていると予測する。 	<p>5.油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年8月1日</td> <td>95</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月1日</td> <td>95</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>令和2年11月1日</td> <td>95</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月1日</td> <td>90</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>85</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和2年8月1日	95	95	令和2年9月1日	95	85	令和2年11月1日	95	80	令和3年2月1日	90	80	令和3年4月1日	85	80							
価格改定年月日	牛脂	豚脂																								
令和2年8月1日	95	95																								
令和2年9月1日	95	85																								
令和2年11月1日	95	80																								
令和3年2月1日	90	80																								
令和3年4月1日	85	80																								
レンダリング	<p>1.油脂等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 8月渡しの国産食用加工油脂向け豚脂は80円/kg(据置き)、牛脂は85円/kg(据置き)となった。 ○ 牛脂は引き続き大手ファーストフードチェーンが堅調、豚脂はラード需要が減退しているが、食用以外のバイオ燃料需要等が拡大していること、パーム油が高値推移していることから、油脂相場が底上げされる可能性が高い。(=回収油の流通価格が上昇している) ○ 6月マレーシア産パーム油相場は、154円(前月+22円)で依然として高値推移している。6月生産量は前月比2.2%増、月末在庫は161万トン(前月比2.8%増)となり、在庫量は事前予想161万~169万トンの下限だった。今後もタイトな需給が続くものと推測する。 ○ 7月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月・前年とも同様であった。工業用油脂は45円/kgと前月・前年とも同様であった。 ○ 7月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月・前年と同様の63円~66円/kg辺り。 																									